



〒344-0001
埼玉県春日部市不動院野1112-1
TEL048-760-1200
FAX048-760-1201
https://www.kasukabe-saintnoah.jp



～目次～

- 病院短信『コロナ禍でやってみてはいかが』
 - 患者さんの日常エピソード
 - いきいき看護・介護
 - 検査科だより
 - 誕生日会&節分
 - スタッフ紹介
- | |
|-------|
| 齊藤 宏美 |
| 鈴木 理恵 |
| 大城 恵理 |
| 木村 収実 |
| 2月 節分 |
| 板垣 尚美 |

3月の予定

◇誕生日会&ひな祭り

1病棟	3月3日(水)
2病棟	3月3日(水)
3病棟	3月5日(金)
各病棟デイルーム 14:00～	



誕生日会&節分



赤・青・緑鬼の顔の箱に

ボールを投げ入れろ(´ー´)ノ
患者さん扮する鬼が邪魔をしますよ～鬼を追い出しましょう！



患者さんと職員ペアの赤鬼と青鬼が登場!(^~^)!
福は～内(*~*~*)



さら台車に乗る

スタッフ紹介



医事課
いたがき なおみ
板垣 尚美
星座：てんびん座
血液型：A型
出身地：千葉県
好きなこと：食べること
寝ること

入職して9ヶ月が経ちました。これまで勤めていた病院は、外来の忙しい所でしたが、ここでは入院患者さんやそのご家族と丁寧に向き合い対応することの大切さを知りました。
まわりの方々に色々教えていただいて日々笑顔を忘れず、一人前になれるように頑張ります。



患者さんの日常エピソード



今回は1病棟のフミさんを紹介します。フミさんは雪深い新潟県南魚沼市のご出身で、色白の美人さんです。ふるさとの思い出話に花が咲きます。4歳の時母を亡くし、家の手伝いをしたこと、小学校の時の担任の小川先生が優しかったこと、町内の皆で盆踊りをしたこと。そして戦後、伯父さんを頼って上京し、伯父さんの肉屋さんで働き、30歳で結婚、2人の子どもにも恵まれ、子育てをしながら製薬会社に60歳近くまで勤めたそうです。朝5時に起き、職場近くの神社仏閣にお参りしてから出勤していたと、昨日のこのように身振り手振りで話されます。「父から『お参りすると争いごとをしなくなる。また、今日一日無事で過ごせたことに感謝して手を合わせなさい。願い事をしたら、その名物を買って、そこにお金を落としてくるんだよ』と教わった。だから築地本願寺にお参りに来た時はお刺身を、浅草寺は雷おこしや人形焼きを買って来たよ」と話してくださいました。今の楽しみは、1階の談話室で大好きなコーヒーを飲むこと。今日も談話室では、神社仏閣参りの話が初めてのように続きます。病棟では毎食後、職員と一緒にコップ拭きのお手伝いをしてくださっています。働き者の姿は今も健在です。また、フミさんは着物が大好きで、着付けの仕事もしたそうです。コロナが終息して、秋祭りに着物を着て花笠音頭を踊ることを、楽しみにされています。早くそんな日常が戻って、フミさんの笑顔とおしゃべりが、たくさん聞こえてくることを願っています。

1病棟 看護副主任 鈴木 理恵

検査科だより

臨床検査技師 木村 収実
 昨年の3月号を担当させていただき、コロナのお話をさせていただきましたが、この1年間でコロナウイルスと共存するための方向性が見えてきたように感じます。そこでキーワードで新型コロナを振り返ってみようと思います。

- 令和2年
 1月：武漢、新型肺炎
 2月：ダイヤモンドプリンセス号、イベント中止・延期、臨時休校
 3月：WHOパンデミック宣言、3密、マスク不足、長蛇の列、エクモ、東京五輪延期
 4月：緊急事態宣言、テレワーク、外出自粛（おうち時間）、街閑散、飲食店休業、テイクアウト・デリバリー
 5月：ステイホーム、緊急事態宣言解除、飲食店再開
 6月：オンライン（会議・飲み会）
 7月：Go To トラベルキャンペーン
 8月：うがい薬、PCR検査、医療逼迫
 9月：ワクチン開発
 10月：Go To Eat キャンペーン
 11月：クラスター、5つの小（小人数、小一時間、小声、小皿、小まめ）
 12月：全国で過去最多の感染確認
- 令和3年
 1月：緊急事態宣言、自宅療養、変異株
 2月：ワクチン接種

ざっと、このようなことでしょうか。目に見えないウイルス、治療薬がないだけに当初は怖い印象でした。罹らないように、マスク・消毒薬を手に入れることに必死になり、春から夏にかけては3密を避けながら生活様式も段々と変化しました。今後、ワクチン接種が進み、治療薬が開発され、以前のように会話を楽しむ食事ができ、こんな言葉がはやったね・・・と思い出話ができる日が早く来るといいですね。

病院短信

1病棟

看護師長

齊藤 宏美



①断る
 ごみのもととなる物を貰わない。マイバッグを持参して袋を断る。今はレジ袋有料化でマイバッグを持参している方も多いですね。

②減らす
 ごみの量が少なくなるような物を使う。使い捨ての物ではなく繰り返し使える物を選ぶ。

③再利用
 物を大切に使い、繰り返し長く使うように心がける。返却や詰め替えをする事で何度も使用出来る容器を利用する。

④修理
 物を捨てる前に修理出来ないか考える。

⑤再生利用
 資源として再利用する。資源ごみの分け方をもう一度確認して正しい分別。

この1年、外出や旅行を控えている方も沢山いたかと思いますが、私もその1人で、出かける事が出来ない今、時間があるとの家の片付けをしています。その中で、何年も使用していない物をゴミとするか資源とするか考えていました。そんな時に読んでいた新聞にこんな記事がありました。



- 《ごみダイエツト5R》
 ① Refuse (リフイウズ) ↓ 断る
 ② Reduce (リデュース) ↓ 減らす
 ③ Reuse (リユース) ↓ 再利用
 ④ Repair (リペア) ↓ 修理
 ⑤ Recycle (リサイクル) ↓ 再生利用

最近、私も5Rを心がけています。家の片付けをして不要になった物はリサイクルショップに持っていきます。自分にとっては不要でも他の人には必要な物があるかも知れません。コロナ禍、出掛ける事を控えている今、皆さんもやってみてはどうでしょうか？
 ごみを減らし環境に優しくを・・・



いきいき 看護・介護

1病棟 介護福祉士

大城 恵理



昨年3月に7年間お世話になった3病棟から再び

1病棟へ異動してきました。

緊張しながら迎えた異動初日、数年ぶりにお会いした患者さんに「大城さん久しぶりだね」と声を掛けていただきました。自分の名前を覚えていてくださった事にびっくりしましたが、不安の中にいた私にはその一言がとても嬉しいプレゼントになりました。

あれからもうすぐ1年が過ぎようとしています。今ではやっとな仕事にも慣れ、温かい患者さんと職員の方々と毎日楽しく過ごさせていただいています。
 これからも明るく楽しくをモットーに「いきいき介護」をしていきたいと思えます。

